

境川かわまちづくりに向けた検討

Consideration for Sakai River Town Planning

水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 八町 裕浩
 審議役 土屋 信行
 水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 阿部 充
 水循環・まちづくり・防災グループ 次長 風間 聡
 水循環・まちづくり・防災グループ グループ長 清水 晃

1. はじめに

千葉県浦安市（以下「市」という）のほぼ中央を流れる一級河川利根川水系境川（以下「境川」という）は、延長約 4.8km の河川である。かつては漁師まちとして船が行き交うなど生活に密接し、賑わいをもたらしていた河川であった。現在もさまざまなかたちで多くの方々によって利用され、親しまれている市のシンボリック河川であるが、境川流域の歴史的建造物や水辺空間の価値は、十分に活かされていない状態である。

このような状況を踏まえ、令和 3 年度から開催した 3 回の懇談会の中で、境川周辺の史跡や特色ある風景の存在を共有し、水質や利活用等の課題について意見交換を行うとともに利活用のニーズを確認してきたところである。

本検討は、境川とその周辺地域を含めた空間形成及び利活用促進を目指すことを目的に、かわまちづくり計画策定及び「かわまちづくり」支援制度登録に向け懇談会等を開催し、かわまちづくりの推進体制構築の機運醸成と合意形成を図るものである。

2. 令和 4 年度の検討スケジュール

令和 4 年度は、懇談会で設置を決めたテーマ毎に利活用の取組みを実行する組織の境川かわまちを進める会（以下「進める会」という）を開催することとし、図 1 のスケジュールで検討を行った。



図 1 令和 4 年度のスケジュール

3. 懇談会及び進める会の概要

3-1 参加者

懇談会については、令和 3 年度に引き続き、境川沿川の自治会、境川を利活用している団体及び商工観光関係の団体（以下「関係団体」という）、河川管理者である千葉県、学識者として法政大学の陣内特任教授、早稲田大学の佐々木教授に参加いただいた。

進める会については、懇談会に参加している沿川自治会と関係団体を中心に、活動を広げるために新たな人材も随時参加可能とした。

3-2 開催日程

懇談会及び進める会は、表 1、表 2 の日程及び方法で開催した。

表 1 懇談会の開催日程・方法

回	開催年月日	開催方法
4	令和4年7月20日	対面形式
5	令和4年9月20日	対面形式
6	令和4年11月28日	対面形式
7	令和5年3月27日	対面形式

表 2 進める会の開催日程・方法

回	開催年月日	開催方法
1	令和5年1月15日	対面形式（テーマ合同）
2	令和5年3月4日	対面形式（テーマ別）

4. 懇談会及び進める会の実施内容及び成果

4-1 実施内容

懇談会及び進める会の参加者及び実施内容を表 3、表 4、開催状況を写真 1 に示す。

表－3 懇談会の参加者及び内容

回	参加者	内容
4	・学識者 ・沿川自治会 ・関係団体 ・千葉県	・かわまちづくりの協議会の説明 ・現在進行中の活動報告 ・「活動テーマ」について意見交換
5		・(仮称)勉強会についての説明 ・「(仮称)勉強会のあり方と名称」について意見交換
6		・今後のスケジュールの説明 ・事例紹介 ・かわまちづくり計画書の構成の説明
7		・これまでの意見のまとめの説明 ・基本方針(素案)について全体討議

表－4 進める会の参加者及び内容

回	参加者	内容
1	・沿川自治会 ・関係団体 ・新たな参加者	・境川かわまちづくりの経緯説明 ・テーマ毎のディスカッション
2		・「境川で行いたいこと、今後議論したい内容」について議論 ・役割決め、参加メンバーの連絡先交換



写真－1 懇談会及び進める会開催状況
(左：第4回懇談会、右：第2回進める会)

4-2 成果

第4回懇談会では、他の類似的な事例を参考に利活用の取組みをテーマ毎に実行する組織「(仮称)勉強会」の設置を決め、意見交換で出されたキーワードから5つのテーマ候補をとりまとめた(表－5)。

表－5 テーマ候補及びキーワード

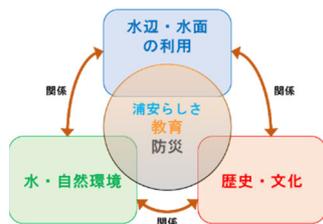
No.	テーマ候補	キーワード、関連事項
1	水・自然環境	水循環、水質
2	水辺・水面の利用	関わる人の輪を広げる、PR
3	教育	未来の境川の活動主体の育成、子どもたち
4	文化	歴史・浦安らしさ
5	防災	水害、液状化、堤防、歴史

第5回懇談会では、テーマ候補からテーマと留意事項(表－6)を決定し、それらの関係性(図－2)を現すとともに実行組織の名称を「進める会」とした。

表－6 テーマ

No.	テーマ
1	水・自然環境
2	歴史・文化
3	水辺・水面の利用

※「浦安らしさ」「教育」「防災」は、各テーマで留意すべき事項とする。



図－2 テーマ関係図

第6回懇談会では、進める会が市民主体となり活動を広げていけるように懇談会の参加メンバー以外の新

たな参加者を募った。また、先進的な事例の中から境川に見合う事例を紹介するとともに、かわまちづくり計画登録に向けたスケジュールを共有した。

第7回懇談会では、これまでの懇談会及び進める会で出された全意見を事務局でテーマ別に分類し、意見からイメージされるアウトカム毎に整理した内容について説明した。その整理した意見から作成した基本方針(素案)(表－7)について議論を行い、進める会と今後設立する協議会で基本方針を検討していく了承を得た。

表－7 基本方針(素案)

テーマ	基本方針(素案)
水・自然環境	かつての境川の自然環境と生物を復活！ －楽しみ、学習の場－
歴史・文化	浦安境川の魅力発信！ －みんなに愛される境川へ－
水辺・水面の利用	いつも人々が楽しみ、集い、交流する賑わいづくり －体験、イベント、商業の拠点－

第1回進める会では、新たな参加者にこれまでの情報を共有し、境川かわまちづくりの理解を深めてもらうことができた。さらに参加者を広げるために説明動画を市の公式YouTubeチャンネルで公開した。

第2回進める会は、テーマ別開催とすることで深く活発な議論が行えた。また、市との連絡調整役を決め、今後も進める会を開催していく環境を形成することができた。

5. おわりに

令和4年度の懇談会は、計画策定に必要な事項や今後の運営体制についても議論が行われ、進める会と今後設立される協議会がかわまちづくり計画登録に向けた推進体制となることの合意が図られた。また、過年度研究結果より、関係者のネットワークを形成していくような工夫を行うことや人材発掘、関心の喚起を重視した活動を実施することが重要との観点から、新たな参加者を募り、丁寧なコミュニケーションを重ねることによって、推進体制の機運が醸成されてきた。尚、懇談会は、議論した基本方針(素案)を推進体制へ引き継ぐことで役割を終えることとなった。

今後は、協議会と進める会の推進体制で、かわまちづくり計画の策定・登録を目指すとともに、進める会の参加者を増やしながら具体的な取組みについて検討を行っていくことが求められる。

最後に、懇談会及び進める会の開催にあたり本検討事業発注者である浦安市をはじめ、法政大学陣内特任教授、早稲田大学佐々木教授、千葉県葛南土木事務所、境川沿川自治会、関係団体の方々には多大なるご協力とご指導を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。